



2.年始のあいさつ
4.民間園長研修会
5.育児相談研修会
6.海外交流研修会
9.ぶらんこ・園紹介

12.保育士養成校との意見交換会
児童虐待防止静岡の集い
13.静岡市・浜松市保育(園)フェア
14.各支部だより
15.専門委員会報告

📷 写真提供: 静岡市 あいわ保育園

年頭所感



静岡県保育所連合会会長

後藤 弘明

「私には夢がある」これはキング牧師の言葉ですが、自分の言葉に置き換え、続けるとしたなら、「すべての子どもが、すべての大人から、大切にされ、愛される存在になるような社会であったなら」との思いである。

今から、十数年前、県保連の委員会に少子化対策委員会が設置されたとき、ポスターが製作され、各園や関係機関に配られたが、そのポスターは、シンボルマークが、大人が子どもを抱きかかえ守っているようなデザインに、「あなたは今 幸せですか」というロゴが記され、副題には「みんなで子育て、夢育て」というすてきなポスターでした。ロゴには、日本の孤児の父といわれた石井十次さんの言葉で、子どもにとって一番大切なことは何ですかという質問に対して、「幸せな大人

の隣に居ること」という回答から引用され、デザインや標語は県内の保育士さんから応募をいただき採用されたものでした。昨年度、全国の児童相談所で受け付けた虐待件数は、八万八九三一件で過去最高となり、県内でも二千百三十二件と大幅に上昇したといえます。この国はいつから、こんなに子どもに無関心な国になってしまったのかと悲しくなります。

今、私のお気に入りの番組に「下町ロケッ ト」というドラマがあります。これは中小企業の製造部品メーカーが、厳しい経済活動競争の中で、社長を中心に、夢を持って、確かな技術力と高品質な製品作りにプライドを持ち大企業に立ち向かっていくという物語なのですが、これは保育の世界でも重なるところがあるのかなと思ってみています。

少し乱暴な言い方かもしれませんが、保育の現場では、輝かしい未来への可能性を秘めた原石である子どもたちに対して、正しい保育力を持って、少しずつ磨き上げ、確かな自己肯定感を備えつけ、卒園させるといふことになるのかもしれない。そして、その仕事を続けるためのモチベーションは、子どもの育ちに対する夢が原動力なのです。

静岡県保育所連合会では、研修の質と量を向上させていく計画です。今後とも、県保連の活動に対しまして、会員各位のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

表彰

おめでとつございます

平成二十七年度に、県内保育園関係者で上部団体等から表彰を受けた方々は次のとおりです。

皆様の長年にわたる児童福祉へのご貢献が認められたものであり心からお喜び申し上げます。

感謝と敬意を表しますとともに、これからも益々ご活躍されますことを祈念いたします。

◆全国保育協議会会長表彰

柴田 尋子

静岡市 静岡隣人会保育園長

◆日本保育協会表彰

※永年勤続表彰（施設長）

向笠 恵子

牧之原市 静波保育園長

杉山 二三子

静岡市 杉の子保育園長

堀江 まゆみ

静岡市 蛸が丘保育園長

山本 千春

浜松市 館山寺保育園長

※永年勤続表彰（職員）

羽田 まゆみ

沼津市 いずみ保育園

新年の御挨拶



静岡県健康福祉部子ども未来局長

河森 加奈子

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、日頃から静岡県の保育行政への御理解と御協力をいただいております皆様、心からお慶びと御礼を申し上げます。平成二十八年の年頭に当たり、御挨拶を述べさせていただきます。

我が国は、急速に進む少子高齢化を背景に本格的な「人口減少時代」に突入しています。静岡県では、喫緊の課題であります人口減少問題の克服を目指し、県民会議や県議会での議論を経て、昨年十月、「美しいふじのくに」まち・ひと・しごと創生長期人口ビジョン」と「総合戦略」を策定いたしました。若い世代の子どもを二人以上持ちたいとする希望をかなえることにより、合計特殊出生率二・〇七を早期に実現するとともに、本県で働いて住み続けたいという希望をかなえ、

二〇六〇年に三〇〇万人程度の人口維持を目指していくこととしたものです。

そのためには、子育てに関わる様々な不安感や負担感、ストレスなどを取り除いていく必要があります。保育所に入園できないから職場復帰の時期を延長することのないよう、地域のニーズに応じた保育サービスが提供されねばなりません。子育てに専念する新米ママの子育てが、「孤育て」にならないよう、専門家による助言や支援が受けられるのは当然のことです。限られた時期だからこそ、パパもママも、安心して子育てを楽しめる静岡県にしなければいけないと感じています。

一方、保育士不足が一層深刻化することが懸念される中、国においては、一億総活躍社会の実現を目指し、保育士試験の年二回実施や保育士の配置基準の緩和、幼稚園や小学校の教員免許での保育所勤務を可能とするなど、保育所及び保育士を取り巻く環境は、大きく変化しようとしています。

子ども・子育て支援新制度により、社会全体で子育てを支える取組が動き始めたばかりですが、保育所、認定こども園の皆様には、多様化するニーズと社会の変化に応えらるる、地域における子育て支援の専門機関として、更なる重責を担うこととなります。皆様と私も行政とが連携して、常に子どもの目線に立ち、「子どもの最善の利益」のために質の高い保育が確保されるよう、ともに取り組んでまいりたいと考えております。子どもは、社会に希望と活力を与える「地

須藤 清子

沼津市 いずみ保育園

保田 富美子

静岡市 いけがや保育園

勝間田 壽美

静岡市 たんぼぼ保育園

藤松 則子

浜松市 館山寺保育園

藤田 聡美

富士宮市 富丘保育園

村松 智子

菊川市 双葉保育園

佐藤 美千代

富士宮市 東保育園

村松 里美

浜松市 湖東白ゆり保育園

榎原 美奈子

富士宮市 大中里保育園

柏木 友香

富士宮市 東保育園

◆全国私立保育園連盟表彰

※保育功労賞

村松 幹子

焼津市 たかくさ保育園長

域の宝」であり、この大切な宝を育てる「子育て」は、極めて尊い仕事であります。皆様におかれましては、引き続きの御尽力を心よりお願い申し上げます。

「平成27年度 民間園長研修会」

今年度の研修会は十月二十九日～三十日にかけて熱海市のホテルニューアカオにて、百四十八名の参加者を迎えて開催されました。今年度も「夢と希望を持てる保育園経営」とは「民間保育園長の資質向上を目指す」というテーマで「子どもの生活環境とともに子育ての環境も大きく変化し、子育て支援に対する保育園の役割はますます深化・拡大している。すべての子どもに質の高い幼児教育・保育を保障するために民間保育園長の果たすべき役割を再認識し、その責務を適切に発揮することを目的に本研修会を開催し研鑽を深めるものとする」を目的とした研修会でした。



一日目の講義①は静岡県健康福祉部 増田吉則氏の講義。テーマは「保育行政の動向について」市町



別の特殊出生率待機児童数などの情報や、子ども・子育て支援新制度に伴わせて計画を策定した「ふじさんっこ応援プラン」の話をしていただきました。「子育ては尊い仕事」県民、地域、企業、行政が心をひとつにして子どもと子育てを大切にする社会の実現。ワーク・ライフ・バランスやイクボスの取り組みなどの説明がありました。子どもたちのために必ず実現して欲しい

と思います。講義②は東京理科大学教授 高橋克徳氏による「組織感情のマネジメント～人と職場をイキイキさせるためには～」でした。人が生きていく上で避けられないのが人間関係。世の中の職場の約三〇％が、良い感情状態。約四十五％が悪い感情状態とのこと。実際に職場の雰囲気をはかりとかがえていった歯科医院の話映像とともに伺いました。思いを伝え合う、自分づくり支援、感謝と認知。その中



で自己効力感を高める。「組織力×個人力×つながり力」我々の職場の感情状態は、子どもたちに大きな影響を与えます。さて、我々の職場の感情状態はどうでしょうか。子どもたちのために、より良い感情状態の職場であり続けなければならぬと感じました。二日目の講義③は、小泉造園 小泉昭男氏による「幼児が生き生きと遊ぶ 保育園の園庭を考える」でした。保育士という経歴をお持ちで、保育士の立場から、自然とかわりを持つた遊びや環境のお話をして頂きました。「遊具のある園庭は、自分で遊びを見つけているのか、遊具に遊ばされていないか」「子どもにとって庭の樹木・草花は観賞用ではない」「子どもにとって害虫はいない」「子どもの目をドングリまなこに」などの言葉が印象に残っています。桜の葉を食べる毛虫の糞からお茶を作る話もかなりの印象強さでした。以上、充実した研修と各園どうしの交流を深めることができました。二日間でした。

育児相談研修会

期日 東部 平成二十七年十一月二十七日

中部 平成二十七年十一月十九日

西部 平成二十七年十一月五日

会場 東部 沼津市民文化センター

中部 静岡音楽館AOI

西部 アクトシティー浜松

テーマ

「保護者の心を開く育児相談」

講師 浜松学院大学短期大学部

名誉教授 福永博文氏



今年度も育児相談研修会が東部・中部・西部の三会場で開催されました。この研修はテーマの通り、育児相談業務を行う中で、どうしても保護者が心を開きスムーズな相談を行う事が出来るかを目的に、浜松学院短期大学部・名誉教授の福永博文先生にお願いをしています。



講義は最初に福永先生の経歴から始まり、その後、「最近の保護者に見られる共通した様相」・「最近の家族の様相」。続いて「保育者による保護者との相談」・「安心して子供を預けられる保育所」・「保護者と保育者のよい関係」等、順を追って話していただきました。その中でも特に「なぜ保護者は心を開かないか」という観点からという事につい

ては「ストローク」⇨「相手を認める働きかけ」をベースに「肯定的ストローク」、「否定的ストローク」等、色々と説明していただきました。

研修は昼食を挟み、午後は三人一組でグループを作り、それぞれ保護者・保育者・観察者に分かれての事例研究です。最初に事例を各役割に分かれて話し合った後、福永先生より解決方法についての説明をいただきました。

今回は一日を通して福永先生の研修を受けましたが、福永先生は本当にたくさんのお話をもちで、またそれを一つ一つ丁寧にお教えいただきました。

今、時代が変わり、保護者・子ども、そして家庭のあり方すべてが変わってきており、保育者としての対応も前とは変わってきています。しかし私たちはそれらを踏まえ、時代の流れに遅れることなく真摯に対応していかなければならないと強く感じた研修でした。



第20回

職員
海外交流研修会

イタリア研修を終えて(報告)

ひな保育園
保育士 中村雅代

十一月二十二日、イタリアへの海外研修に出発しました。イタリアはモンテッソリー教育がはじめられた国であり、子どもたちの生活の中で、この教育がどのように実践されているのか期待を持ちながら施設見学に向かいました。

視察先は二ヶ所。一つ目の視察先であるCasa dei Montessoriはローマ市内にあり、イタリア銀行の職員の子どもが通う園児百五十名程のローマでは大きい保育施設です。モンテッソリー教育が主になっており、子どもたちの自主性を尊重し、教具を使い一人ひとりのプログラムに従って一日を過ごしています。保育室には五感を刺激する物、読み書き、数字などの発達に必要な環境が用意されています。また、遊びの中で植物や生き物の仕組みなど知ることが出来る教具が多く取り入れられていることを感じました。そのような空間の中で、子どもたちが自由に活動する姿を見ることが出来ました。

二つ目の視察先は、フィレンツェ市内にある元修道院をそのまま活用した建物の中で、保育園から中学校までの一貫教育をしている施設KINDERGARTENです。三歳以上児たちはグループ分けのクラスで遊びや素材の発見、栽培や科学的実験、英語などがプログラムされています。一番の特徴はアートプロジェクトと呼ぶ芸術活動が目立ちます。クラス名に有名な芸術家の名前を付け意識の高い活動をしています。

この研修を通して、ローマでは古代から人々に継承されてきた歴史や文化が、子どもたちの生活や保育の中に大切に受け継がれおり、フィレンツェでは子どもたちに、中世の街並みや芸術に触れる機会を作ること、感性豊かに育てる保育に重きを置かれていることを感じました。それぞれの町の保育の特色を知り、私自身も五感を刺激される、とても有意義な研修となりました。



海外交流研修に参加して (参加者感想)

長泉町 聖心保育園 土屋恵美

今にも雨が降り出しそうな曇り空の下、定刻より約一時間半遅れで旅立ちました。ローマ観光の翌日、カーザデイバンビーニ幼稚園を訪問。自分の好きな遊びに夢中の子



どもたち、ドレッサーに座り、鏡を見ながら



自分の髪の毛を三つ編みにしている女の子、洗面板を使って石鹸でハンカチをこし洗っている女

の子の姿が印象的でした。一生懸命取り組んでいる姿があまりにも可愛くて涙が出てきました。日本の子どもでも洗濯板の使い方など知らないでしょう。本物の針に糸を通している子、いろいろな場面を見て、教員と子どもたちの信頼感もうかがえました。

ローマ・フィレンツェ・ミラノの三都市の観光も一生に一度は訪ねてみたいと思っていた憧れの地で喜びもひとしお感動の連続でした。

今回このような機会を与えてくださった皆様をはじめ、快く送り出してくれた職場の同僚そして家族に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

浜松市 いずみ保育園 林 千晴

十一月二十二日 静岡県内から参加者二十九名での研修が始まりました。保育を通しての仕事の為か、皆さんすぐに打ち解けた声が聞こえ楽しい旅でした。

今回の研修では、イタリアの保育施設の研修・遺跡の見学をしました。

ローマ・フィレンツェの保育施設では、モンテッソリー教育・絵画を中心とした教育・保育の施設を見せていただきました。それぞれ



れに自分たちの保育方法を大切に考えその中で子どもにとって一番良い方法を実践してい

ました。取り入れられるところを取り入れて
いきたいと思っています。

遺跡見学、ローマでは、バチカン美術館・
サンピエトロ寺院など古代 何世紀前からの
絵画に接し、美しさ・壮大な建造物・細部に
わたる見事な彫刻、市内のあちらこちらに何



気なく
散在す
る古代
からの
噴水・
彫刻に
建造物
を現代
に合う
ように

工夫して生活が営まれていることにイタリア
の人達の古代の物・古代の人に対しての敬愛
のこころを感じました。フィレンツェも同様
で、ピサの斜塔など古代の人の知恵の素晴ら
しさに加え、古代の人と現代人の知恵の融合
を見ました。ミラノでは、現代のイタリアを
見ることが出来ました。経済の中心として、
近代的合理的な世界を見ることができまし
た。

施設見学で学んだことは、保育園で生かし
ていきたいと思えます。史跡に触れ気持ちを
リフレッシュできたこと・他の方々々々のお喋
り・保育の話し・有意義な時間が過ごせまし
た。

静岡市清水区 ふたば保育園 伏見かおり

たくさんの世界遺産を見られる！と胸を躍
らせながら、十一月二十二日イタリアへ旅立
ちました。最初の街ローマで、目に飛び込ん
できた風景は、今までに見たことのない、全
てが彫刻のような街でした。街の景観を損な
わないよう、駐車場（立体）は造らないとい
うだけあって、路上にこれまた芸術的に車が
縦列駐車してあることに驚きました。



最初の
視察先
は、ロー
マにある
モンテッ
ソーリ教
育のCa
mbi B
d
i Mo
ntec
ssor
iとい
う
幼稚園。

イタリア中央銀行にお勤めの裕福な家の子ど
も達が通っていて音楽、絵画、英語、園芸等
自主性を伸ばすべく、それぞれのプログラム
が創られています。

二つ目は、フィレンツェにある保育園から
中学まで一貫教育をしている、KINDER

GARTEN。ここで一番印象に残ったのは、
三歳からピカソやゴッホ等の画家についての
学びが始まり、芸術的に有名で重要な場所を、
粘土や絵画で表現するということです。小さ
な頃からイタリアの歴史を徹底的に勉強する
ということを知りました。

本当に素晴らしい世界遺産の建造物や遺跡
をこの眼で見ることができ、感謝の気持ちで
いっぱいです。ありがとうございました。



伊豆市立 さくらもも園 園長 大木 妙子



今回、東部

地区「ブラン
コ」の訪問
先は、平成
二十二年に、
さくら保育園
にさくら幼稚
園が新設さ
れ、認定こ
ども園になつた
「さくらこ
ども園」です。

昭和七年に
個人立の保育
園として開
設し、昭和
三十二年に村
立保育園とし
て認可を受

け、今現在は定員二百名と、伊豆市の中心と
なる認定こども園になりました。

園の周囲は、田畑・山・川があり、豊かな自
然に囲まれ、子育て環境も核家族が増える中、
祖父母と生活を共にする家庭や祖父母の力を
借りて保育ができる家庭が多いです。子ども
たちは素直で人なつこい子が多いそうです。

こども園になるに当たっては、一年前から検
討委員会を立ち上げ様々な勉強を重ねました。

実際にスタートしてみると、保護者会活動
や参観日など教育部・保育部の生活時間の違
いから保護者や保育者に戸惑いが生じたり事
務処理が多くなったりしました。三ヶ月に一
度こども園部会を開き話し合いを続け、今現
在は落ち着いています。また、保護者の就労
に伴い、教育部や保育部に同じ園で移動でき
ることは、保護者にとつての利点です。園目
標は「元氣いっぱい、笑顔いっぱい」で健康で
たくましい子・思いやりのある子・自分の思
いを表現できる子をめざして保育しています。



伊豆市では市独自の健診があり、園と市健
康福祉部、教育委員会、医師連携の市内す
べての四歳児を対象とした「五歳児健診」を
実施しています。三歳児健診と就学時健診の
間を埋めるもので、集団生活を円滑に進めて
いくための適切な支援につなげる事と、保護

者も含めた就学に向けての準備につなげる事
を目的にしています。

さくらこども
園から少しはな
れたところに地
域子育て支援セ
ンター「ちびつ
こサロンわら
ぼ」があります。

ここは地元の方
の希望で、平
成二十四年に休
園した保育園を
地域に残して欲
しいと、保育園
の施設がそのま
ま地域支援セン
ターになりました
た。保育室が開放されており、二人の保育士
が常駐しています。広い園庭や遊具そしてプ
ールもあり、夏は伊豆市以外からもたくさん
の方が水遊びにきます。昼食も園舎内で食べ
られることや、子どもサイズのトイレなど保
育園の施設をそのまま利用しているので安心
して親子で過ごせるようです。

「さくらこども園」は、二年後に民営化し
移設します。新園舎ができたらずひまた伺い
たいと思います。

お忙しい中、取材に応じてくださった大木
園長先生をはじめ職員の皆様、ほんとうにあ
りがとうございました。



藤枝市 藤枝聖マリア保育園 園長 鈴木 訓子

今回の訪問先は、藤枝市の藤枝聖マリア保育園です。国道一号藤枝バイパスの東藪田インターから車で数分のところにあり、保育園周辺は静かな住宅地です。広い敷地の中にある園舎に入ると保育室、子育て支援室、ホール、調理室などがあり、天井の高い保育室は広々とした空間でした。保育園を運営する社会福祉法人聖母福祉会には、七ヶ所の保育園と一ヶ所の特別養護老人ホームがあります

が、藤枝聖マリア保育園の子どもたちは、穏やかで落ち着いた環境の中で、明るく、生き生きと健やかに育っています。



保育園の設立は昭和四十三年四月ですが、平成十四年七月に現在の場所に新築移転しました。三年後には創立五十周年を迎えます。定員は現在百五十名ですが、

百五十四名の園児が暖かく、優しい雰囲気包まれて過ごしています。園長の鈴木訓子先生は今年四月に就任されたばかりで、子ども子育て支援新制度のスタートもあつて多忙な毎日を過ごされています。



保育の特徴

としては、モンテッソーリ教育を取り入れ、子どもの経験を大切に、子ども自身が自分で理解し、判断し、実行することができるような人づくりの基礎を培うことを目標に

して保育室の環境を整えていますと仰っていました。年齢別の保育室には子どもの発達に沿った教材が並べられていて、子どもたちが自由に学んでいる様子うかがえました。鈴木園長先生は、子どもたちの「自分でやりたい！」という意欲を尊重し、保育士は子どもの出来ない事を援助することで子どもの自立を促す事を大切にしていると話してください

いました。ホールでは十二月に生活発表会があるという事で、遊技の練習をしている子どもたちの姿も見られました。

また、病後児保育も行われており、看護師一名が配置されています。地域子育て支援センターも併設されていて、一日十〜二十組の親子が訪れ、三名の職員が対応しているとのことでした。季節の行事や手遊び、リズム遊び、紙芝居などの活動のほか、親子体操や食育、保健講座などの育児講座、子育て相談、子育てサークル活動支援なども行われています。園長先生のお話を伺った後、園内を案内していただきました。ちょうど食事の始まる時間となり、乳児クラスでは美味しそうに給食を食べる姿が、また幼児クラスでは楽しそうに食事の支度をする園児の姿が見られました。



子どもにとってより良い環境とは何か？をあらためて考えさせられた今回の取材でした。お忙しい中を取材に協力いただき、ありがとうございました。

浜松市 太陽第二こども園 園長 佐藤 宏人

今回、西部地区では浜松市南区にあります、太陽第二こども園を取材させていただきました。園の周囲は、浜松駅前のアクトタワーを北側に臨みながらも、自然環境に恵まれ、保育には最適な環境でした。



太陽第二こども園は、平成十六年四月一日に太陽第二保育園として開園しました。そして平成二十七年より幼保連携型認定こども園として名称も変更し、新たに

太陽第二こども園として再スタートしました。定員も九十名から百名へと増員し、地域の待機児童問題にも貢献しています。園舎は直線と曲線を組み合わせた斬新な造りで、雲一つない青空に園舎の白い壁がとても爽やかな印象でした。

取材当日は十二月の肌寒くなり始めた日で



したが、園内に入ると、佐藤宏人園長先生を始め、職員の皆さん、そして子ども達がまるで太陽のような温かな笑顔と、「こんにちは」という元気な挨拶で迎えてくれました。

取材にお伺

いた時、子供たちはちょうど外の散歩から戻ったところで、室内での活動が始まっていました。明るく落ち着ける雰囲気の中、粘土で動物を作ったり、友達と楽しそうに遊ぶ子ども達の様子や職員との関わりを見ていると、佐藤園長先生からお話いただいた、「あたたくく・つよく・ただしく・ほがらかに」という保育理念が見事に実行されていると感じました。この理念は、それぞれに「こころ」という言葉を付けると「あたたかいこころ」「つよいこころ」「ただしいこころ」「ほがらかなこころ」となるように、子どもひとりひとりの心を大切に、丁寧な教育・保育を心がけて



いらっしやるとのことでした。また、太陽第二こども園は七百坪以上という大変恵まれた園庭が整備され、子ども達が思いきり活動できる環境がある他、敷地内に畑もあります。園児と職員がどんな作物を植えるか相談し、それに合わせて耕うん機で耕し、畝を作り、苗を植えます。そして、外活動の時に作物の成長を観察し、草を抜いたり、畑の草むらにバットやコオロギを捕まえるなど、自然を肌で感じることで豊かな身体と「こころ」を養うことを目指しているとのことでした。そんな豊かな環境で育った子ども達の笑顔と「バイバイ！」という声に見送られ、太陽第二こども園を後にしました。尚、太陽第二こども園はホームページの内容も充実しており、更新もスピーディーに行われているとのことでした。

皆さんも是非ご覧になって下さいね。

今回お忙しい中、快く取材に応じて下さった佐藤園長先生を始め、職員の皆様、そして太陽のように温かな笑顔くれた園児の皆さん、本当に有難うございました。

保育士養成校との意見交換会

県内保育士養成校と本連合会との意見交換会が七月三十日（木）午後、クーポール会館（静岡市）で開催されました。

今回は、県内十三の大学、専門学校から二十名の教員、県保連から正副会長及び研修委員十二名、加えて保育士・保育所支援センター職員一名が参加しました。

意見交換会では、昨年四月から「子ども子育て新制度」が本格実施されたことから、認定こども園の設置状況及び平成二十七年年度の施設整備計画が報告され、引き続き保育士の確保が課題となる旨、説明がありました。

保育士・保育所支援センターからは、本年度県内の四会場で実施した「しずおか保育の仕事」説明会の開催状況が報告され、養成校の協力により各会場とも盛会に開催されたことへの謝辞がありました。

養成校からは、就職や求人状況の説明があり、求人倍率が高まっていること、就職内定の時期が早まっている等の発言や認定こども園への移行を見据えた幼稚園からの求人も増えているとの説明がありました。

また、静岡県立大学短期大学部では、保育士資格に加え、幼稚園教諭の免許が取得できるよう新たに「こども学科」を設置する認可申請を行っていること、沼津情報・ビジネス専門学校から新校舎を建設中で、本年四月には現所在地から沼津駅に近いところに新キャンパスが誕生するとの紹介がありました。

その他、最近の学生のメンタル面の脆弱さや早期離職の問題について意見交換するとともに、保育園実習や県西部地区で実施されている保育園の現場体験、「保育の仕事」説明会などで協力していくことを確認しました。

児童虐待防止静岡の集い



児童虐待に関する相談対応件数は増加を続け、特に子どもの命が奪われるなど重大な事件も後を絶たない状況で、児童虐待問題は社会全体で早急に解決しなければならぬ重大な課題となっています。

このため、十一月の児童虐待防止月間に合わせ、県内の行政機関と民間団体が一体となって実行委員会を組織し、広く市民・県民に理解を得る目的で十一月十四日（土）、「第7回児童虐待防止静岡の集い」が開催されました。第一部の講演会は、静岡県職員会館（もくせい会館）で開催され、二百名余の参加者に（福）恩賜財団母子愛育会の和田一郎主任研

究員が「子供の虐待を社会で防止する」と題して講演しました。

講演では、児童虐待の経済的損失について語られ、虐待は子どもの心身に悪影響を与えるだけでなく、国の経済にも大きな損失であると指摘されました。

第二部の市内パレードには、あいにくの雨の中、二百四十名が参加し、シズウエルから県庁、七間町・呉服町通り、小梳神社まで市民に子ども虐待防止を呼び掛けました。



小梳神社では、本連合会の神野博行副会長が参加者に謝辞を述べるとともに、「児童虐待の問題は、社会全体で解決に取り組みなければなら

ない課題である。活動の輪が広がり、安全で心豊かな社会を実現しよう。」と決意表明しました。

また、今回からオレンジリボンたすきリレーが始まり、富士市中央公園から県庁まで、四十一キロのコースを六十名のランナーが参加し、虐待防止の象徴であるオレンジのたすきをつなぎました。

静岡市「葵・駿河区保育フェア」

静岡市保育協会

第十回を迎えた、葵・駿河区の保育フェアが、晴天の元、葵スクウェアで盛大に行われました。

オープニングは十時二十分と、早い時間でしたが、ステージ前は待ちきれないお客様で、すでにいっぱいでした。着ぐるみ隊のかわいいダンスや、男性保育士の力強いダンスで第十回のフェアが華々しく始まりました。



スタートと同時に、手作りおもちゃコーナー、泥だんごコーナー、食育コーナー、生活コーナ

ーの各ブースに親子連れが押しかけ、賑やかな楽しい声があちこちから聞こえてきました。

ステージでは、各保育園が歌遊びや、劇、ペープサート、人形劇など楽しい出し物を次々に見せてくれます。また、子育て支援コーナーでは、子育ての相談にのったり、いろいろな情報も教えてくれます。

保育園はどこなところなの？という疑問に分かり易く答えているのが、この保育フェアです。来場された皆さんが、笑顔で「保育園で楽しい所ね」と感じて帰ってもらえたのではないかと思っています。

保育園フェスタ2015

浜松民間保育園園長会

平成二十七年十一月七日土曜日、浜松民間保育園園長会主催の『保育園フェスタ2015』を浜松市ギャラリーモールソラモで開催しました。

保育園・こども園のことを地域の方々に、正しく認識していただけるように、園長会での話し合いから実現したもので、昨年に引き続き二回目の開催となりました。

当日、メインステージでの子どもたちの歌やダンス・体操等の披露と、加盟園が区毎に実施するブースで保育内容の紹介を行いました。また遠鉄百貨店五階では、加盟園から持ち寄った保育の写真展をフェスタの前後一週間、展示させていただきました。

会場の遠鉄ビジョンも活用し、区毎で作成

した加盟園の紹介映像を流し、多くの方に保育園・こども園を知っていただくことができました。のではないかと思います。

保育園・こども園の保護者はもとより、通りがかりに興味を持ってくれた乳幼児連れの家族や買い物途中の高齢者の方等の来場もあり、盛大に開催することができました。

保育園フェスタは、継続していくことに意義があります。今後も多くの方に保育園やこども園を正しく知ってもらえるように、また、子どもたちの笑顔があふれる『こども第一主義』の浜松市の一端を担えるように、努力をしていきたいと思っています。



各支部だより

東部支部

支部長 緑ヶ丘保育園 内藤栄一

- 一、総会及び施設長研修会
期日 平成二十七年五月二十六日(火)
会場 沼津市民文化センター 大会議室
講師 伊豆の国市 慈恩保育園 副園長 土山龍之 氏
演題 「ミッシンッピ川
カヌーで三〇〇〇キロの大冒険」
- 二、中堅保育者研修会
期日 平成二十七年八月二十七・二十八日
会場 三島市箱根の里少年自然の家
- 三、保育の日研修会
期日 平成二十七年十月二十四日(土)
会場 三島市民文化会館
- 四、民間部会外施設視察研修
期日 平成二十八年一月十三・十四日
視察先 ふじようちえん(東京都立川市)
- 五、行政部会研修
期日 平成二十八年一月十四日(木)
会場 伊豆市役所生きいきプラザ
- 六、青年部会研修
期日 平成二十八年一月三十日(土)
会場 三島市社会福祉会館
- 七、新規採用予定職員研修会
期日 平成二十八年二月二十四・二十五日
会場 三島市箱根の里少年自然の家
- 八、家庭における読み聞かせ活動の普及

中部支部

支部長 ゆりかご保育園 神野博行

- 一、総会及び施設長研修会
期日 平成二十七年五月十八日(月)
場所 静岡県総合社会福祉会館
講師 中京大学客員教授 鯨岡 峻 氏
演題 「幼保連携型認定こども園
教育・保育要領を読む」
- 二、保育所職員研修会
期日 平成二十七年十月二十日(火)
場所 静岡科学館る・く・る
講師 静岡科学館 館長及びエデュケーター
常葉大学教授 山田 辰美 氏
演題 「五感を磨き、
高い感性の保育士を目指して」
- 三、中堅保育士研修会
期日 平成二十八年一月二十一日(木)
場所 静岡県総合社会福祉会館
講師 玉川大学教授 大豆生田 啓友 氏
演題 「園の保育の質を高める
中堅保育士の役割」
- 四、新規採用予定職員研修会
期日 平成二十八年二月十六日～十七日
場所 静岡県立焼津青少年の家
- 五、各地区事業
各地区ごとの事業計画に基づいて実施

西部支部

支部長 ルンビニ保育園 岡田泰稔

- 一、総会及び施設長研修会(百九名参加)
期日 平成二十七年五月十九日(火)
場所 アクト音楽工房ホール
講師 同志社大学 教授 小西 行郎 氏
演題 「赤ちゃんに学ぶ、育つチカラ!」
- 二、男性職員交流研修会(三十八名参加)
期日 平成二十七年七月三十一日(金)
場所 アクト研修交流センター四〇一
講師 百町森 相沢 康夫 氏
演題 「乳幼児の遊び」
- 三、初任職員研修会(六十六名参加)
期日 平成二十七年九月十五日(火)
場所 アクト音楽工房ホール
講師 (株)スマイルカンパニー
村松 崇継 氏
- 四、小児医療研修会(百八名参加)
期日 平成二十七年十月八日(木)
場所 アクト音楽工房ホール
講師 磐田市立総合病院小児科部長
白井 眞美 氏
演題 「保育所における
感染症に対するの管理と注意」
- 五、新規採用予定職員研修会
期日 平成二十八年二月十七日～十九日
場所 静岡県立三ヶ日青年の家

予算対策委員会

委員長 緑ヶ丘保育園 内藤栄一

県下公私立保育所・認定こども園五百三十九ヶ園で構成する保育所連合会は、質の高い保育の提供と、子ども達の安全と健やかな成長を保障し、心豊かな次世代を育成していくという使命達成のため、保育所・認定こども園がより一層充実した保育・教育を展開できるように、県に対し

- ① 食育の充実と推進について
- ② 乳幼児保育事業の充実について
- ③ 年度途中入所サポート事業の継続について
- ④ 産休等代替職員雇上事業の充実についての四項目を要望しました。

また、①の食育の充実と推進については、国庫奨励事業「保育体制強化事業費助成」を活用することになり、事業に取り組む市町の負担が生じるので、各市町長に対応の依頼をしました。

- ① 子ども・子育て支援新制度を推進していくための恒久的な財源の確保について
- ② 保育の質を高めるため、抜本的な処遇改善を実現する給付について
- ③ 保育所等整備交付金・保育対策総合支援事業費補助金の維持・拡充について



海外交流委員会

委員長 緑ヶ丘保育園 内藤栄一

本年度は第二十回の記念事業として、十一月二十二日(日)～二十八日(土)の五泊七日でイタリアを訪問しました。

パリ同時多発テロが発生し、不安を抱えながらの出発となりましたが、観光地では軍隊がしっかりと警備をしていました。先駆的な幼児教育をしている施設二か所と、数々の世界遺産を訪ね、見聞を広めると共に、仲間との親睦を深める有意義な研修となりました。

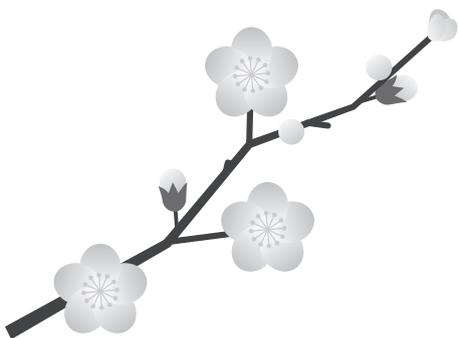
来年度も引き続き海外交流研修を実施する予定ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。



少子化等問題検討委員会

委員長 緑ヶ丘保育園 内藤栄一

子育て支援への関心と理解を求める啓発活動を行った場合の経費を助成する「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を実施しています。この助成金を活用した地域子育て活動の展開を更に推進するとともに、財源となります協力金へのご支援をお願いします。本年度の啓発品としては「カラーメモ」を作成し、民間園の皆様には民間園長研修会において配付しました。公立園の皆様には一月二十七日に開催する「施設長研修会」において配付しますので、本事業の趣旨をご理解の上ご協力賜われますようお願いいたします。



～活動の報告と計画～

研修委員会

委員長 掛川こども園 野中 徹

本年度の下期予定研修も、民間園長研修会、育児相談研修会が終了いたしました。皆様のご協力ありがとうございます。詳しい内容は、民間園長研修会の記事をご覧ください。

さて、この四月より子ども子育て新制度がスタートしました。認定こども園へ移行した園、また移行した園より情報を集めながら、今後検討していく園、市町でも、新制度への対応に追われているなど、まだまだ新制度への情報は必要とされています。大きな変革の時を迎えています。きちんと制度を理解し、今後子どもたちの最善の利益を守っていただけるような研修に取り組んでまいりますので、多くの皆様の参加をお待ちしています。

○施設長研修会

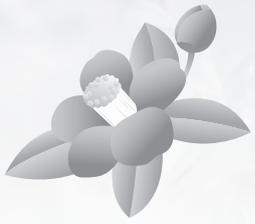
平成二十八年一月二十七日（水）

清水テルサ

○新規採用予定職員研修会

平成二十八年二月中旬から下旬

（会場は各支部の研修会場にて）



青年部会

部会長 なごみ保育園 志賀口大輔

部会としての活動三年目。研修活動、調査研究活動、同世代の情報交換・交流活動、県保連事業への応援活動を中心に活動すると共に日本保育協会青年部全国大会（平成二十九年年度）の静岡県誘致にむけて、より一層の組織強化に努めて参ります。

実績の報告

六月十二日（金）青年部シンポジウム「子ども・子育て支援新制度の本格実施に伴う取組と課題について」

七月二日（木）、三日（金）「第五十六回関東ブロック保育研究大会」（応援スタッフとして参画）

今後の活動予定

十二月におこなわれる西部支部 青年部が企画する公開保育研修会を皮切りに中部支部、東部支部におきましても、それぞれ青年部らしい研修会を企画予定しておりますので、ご案内があった際には、支部を超えてご参加頂くこともできますので、是非よろしくお願ひ致します。

※西部支部公開保育担当園

ながかみ保育園（浜松市東区）、まるづか保育園（浜松市東区）、曳馬保育園（浜松市中区）、ずたじこども園（浜松市南区）、なごみこども園（浜松市北区）

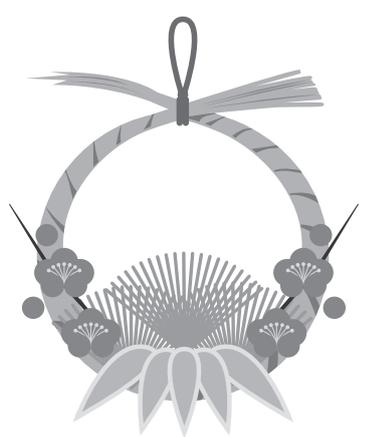


広報委員会

委員長 相生保育園 吉野恵人

広報委員会では、年二回機関紙「ほいく静岡」を発行し、各研修会、専門委員会や支部の活動の報告を行うほか、その時の情勢に合わせて特集記事を掲載しています。今号、冬号では県保連会長、県こども未来局長の年頭あいさつ、平成二十七年表表彰者紹介、各支部の園紹介「ぶらんこ」を掲載するほか、各地域で取り組んでいる子育て支援啓発活動事業の状況、虐待防止運動、そして今号では「二十周年記念海外研修（イタリア）」も掲載します。参加された皆さんが感じたイタリアの陽気な空気が皆様に伝われば幸いです。

今後、各地区や保育園において実施されているユニークな保育実践・研究や講座なども紹介していきたいと考えております。特に表紙、裏表紙の写真は毎号募集しておりますので、皆様方の積極的な寄稿をお待ちいたします。



スマートフォン適応
画面を標準装備!

手軽に簡単更新 PassTell Blog
パステルブログ

22年間、1,000以上の実績!

ホームページ制作



専門的な知識がなくても、ホームページを手軽に更新でき、情報を必要な時にリアルタイムに配信できます。また、保護者世代の約7割が利用しているスマホ画面を標準装備。今ならホームページ運営に役立つ小冊子を先着20名様にプレゼント!

クラウド型
園児管理システム

パステル Apps

園児情報を安全に一元管理

業務の負担を軽減



園児・保護者・職員の基本情報を元に、メール配信など複数の業務を一元管理。まもなく登場する登降園管理では保護者が送迎時に打刻でき、延長分の集計も行えます。筑波大学と共同開発した園児の発達支援ツールとも連携。30日間無料体験あり。

問合せ ☎054-626-8888 パステルIT新聞事務局 <http://passtell.jp/>

さまざまな危険からお子さまをお守りする

『園児総合保障共済制度』

キッズカード (こども総合保険)



AIU損害保険株式会社

日々大きく成長されるお子さまたちの行動には予測できないことも多く、何かとお心づかいのことと存じます。いつ、どこで何が起こるのか予想もつかない事故の、確かな“まもり”として本制度をお届けいたしております。

静岡支店 〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1
水の森ビル5階
☎: 054-284-2781
浜松支店 〒430-0935 浜松市中区伝馬町312-32
浜松シティビル5階
☎: 053-454-0321
沼津支店 〒410-0801 沼津市大手町3-8-25 7階
☎: 055-963-8081



すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 **シャクエツ**



保育士登録数 **20,000名**

アスカグループは保育士さんの人材紹介・派遣会社です

保育士求人ポータルサイト
保育情報どっどこむ

くわしくはwebで [保育情報どっどこむ](#) ウェブ検索

保育士の人材紹介・派遣
asuka **アスカグループ**
0120-777-277

誕生!!



東武トップツアーズ

2015年4月1日

トップツアー株式会社は東武トラベル株式会社と合併し

「東武トップツアーズ株式会社」として生まれ変わりました

東武トップツアーズ株式会社静岡支店
〒420-0859 静岡市葵区栄町3-1
あいおいニッセイ同和損保静岡第一ビル10階
TEL:054-255-1919 / FAX:054-252-9509

こどもの笑顔がみたいから

安心・安全な
保育園用おやつ



全国の保育園から
お使い頂いています

 **株式会社サンワールド**

<静岡支店> 〒421-0121 静岡市駿河区広野2-10-17
TEL054-256-6332 <http://www.sunworld-honsha.co.jp>

保育所事務処理の“作業効率化・正確化”を応援します！

社会福祉法人支援システム「創・ゆとり」シリーズ

操作はとっても簡単！

財務会計2016

「新会計基準」準拠！シンプルに使いやすく、予算～仕訳～決算まで安心の、財務会計システムです！

給与計算2016

「給与実務カレンダー」「職員一覧入力画面」等、便利な機能を追加して生まれ変わった給与システムです！

給食管理システム

基本的な食品成分表はセット済み。栄養目標値に対する達成率や発注・仕入処理も可能なシステムです！



ISO9001・ISO27001認証 ITインテグレーター

株式会社 **ユニテック**

〒420-0911 静岡県葵区瀬名1丁目18-33 ユニテックビル
TEL:054-264-1111 FAX:054-264-7771

ホームページ www.unitec.jp メールアドレス eigyo@unitec.jp

緊急連絡網の準備はできていますか？携帯電話・パソコンへ斉メール配信「携帯電話チェックインシステム」

緊急時、行事開催、一般連絡等の情報伝達が飛躍的に改善されます！
受信者のメール確認状況も把握できます！

園の紹介、情報開示は簡単便利なホームページで！「らくらく更新web」

苦情解決、事業報告、行事予定、写真(アルバム)等の
情報公開、情報更新が園のパソコンで簡単にできます！



株式会社 **データサービスセンター**

〒411-0912 駿東郡清水町卸団地63-2(沼津卸商社センター内)

Tel:055-972-7717 <http://www.dataeast.co.jp>

Fax:055-972-0969 E-mail:h-sanada@dataeast.co.jp



御殿場市 双葉保育園 勝又秀文
ぶらんこ初取材。暖かい対応をしていただきありがとうございます。
沼津市 原町保育園 鶴谷由美子
一瞬でデータが消えてびっくりぼん！みなさまのおかげで間に合い感謝しありません。

静岡市 月影保育園 浅井哲朗
編集会議の足をひっぱることが多くて、反省しています。申し訳ありません。

静岡市 相生保育園 吉野恵人
今年度は関ブロ広報、「ほいく静岡」広報と広報委員の一年間でした。

静岡市 麻機保育園 鈴木克明
今年度は関東ブロック資料も含めて広報委員会がんばりました！…疲れしました！

静岡市 ゆりかご保育園 神野博行
今年も楽しくできました。来年も元気でがんばりたいいな。

静岡市 あいわ保育園 増田俊一
ぶらんこの 原稿これで 四回目

浜松市 入野こども園 中村勝彦
広報委員会の仕事も三年目となり、やっと慣れてきたような気がします。

袋井市 袋井ハロー保育園 鈴木康
今回も楽しく編集に参加させて頂きました。次回もよろしく願います。

湖西市 真愛保育園 松浦弘太郎
広報委員会に参加し、早くも八ヶ月が経ちましたが、楽しくやらせて頂いています。



海外交流研修会・イタリア



「ほいく静岡」原稿写真募集中

保育実践・研究の紹介や育児相談・講座の紹介など奮ってご寄稿下さい。
ホームページ：www.hoiku-shizuoka.org

✉ 投稿先 静岡県保育所連合会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号
TEL / FAX : 054-251-8873